

オレは最近、時々この女性と
早朝、公園内をジョギング
している

母親より十歳は
年上であろう
熟女と：

熟女ランナー

MATURE RUNNER

ノギコさん
少し休憩
しましょう

そうね
シズル君





それが二人の
ルーティーン
なのだ



オレは甲元シズル
陸上部で長距離走
ランナーをやってて

毎日自主トレで
公園内をランニング
している

その時、偶然
知り合ったのが
ノギコさん



彼女も学生時代
陸上をやっていた
らしく

お互い打ち解けるのに
時間はかからなかった



むしろ声を掛けたのは
こっち……

そう・何を隠そう
オレは無類の

としようえ
熟女好きである

小さな頃から
保母さんだとか



学校の先生や
近所のおばさん

時には友達之母親
みたいな年上の女性に
魅力を感じていた



同年代の女子には無い色気:

そこにエロスを感じずには
いられなかったのだ

だがそれは皆、母と近しい
年齢の女性に限定されていた

そんなオレが年上属性を
促進させる事になったのは

C学生の頃みた
アダルト動画

Pacon h
communi



OH! YES

AHAAA!!

抜きまくった

それ以来夜な夜な
ネットではレンチな
熟女動画を探しては

熟女の裸・熟女のセックスプレイ

淫らな熟女たちを
目の当たりにした時
世界が広がったのだ



そして今、ココに
夢が叶ったんだ・

どうですか
ノギコさん
気持ちいい
ですか

イイッいいわ
イイに決まってる
じゃない

最高の熟女との
最高の生ハメ

こんな歳の差のある
枯れたお婆さんの
オマンコに

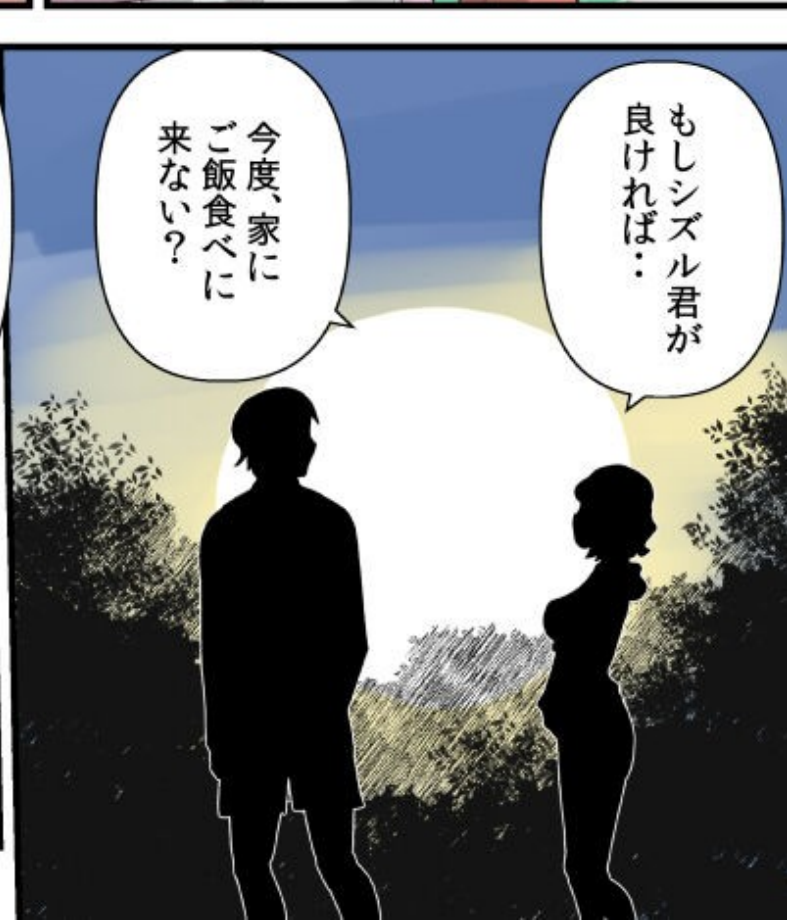
若くて元気な
チンポが入ってる
のよ

夢のようだわ

ノギコさんも
オレと同じ

あー、
ハズレに
さー

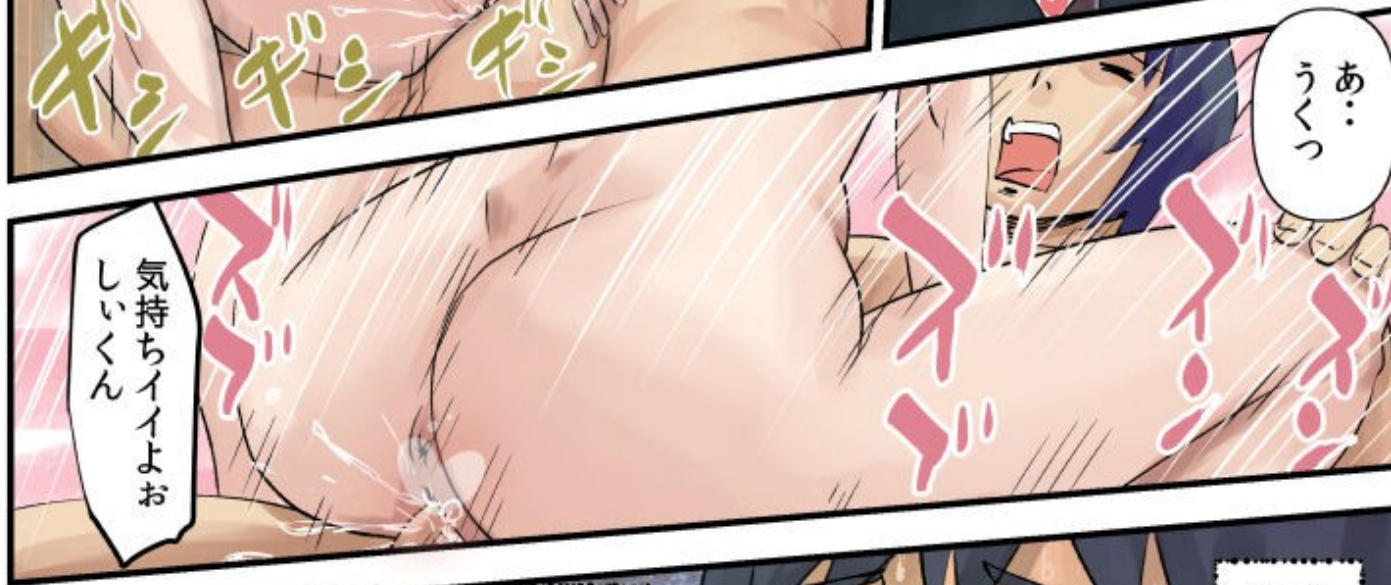
あー
ごっ、
ハズレ





しいくん

しいくん



気持ちいいよお
しいくん



若い娘に興味が無い訳ではない

熟女好きはオレの「性癖」であり
同年代の彼女と
付き合いもあつた

普通にセックス
だつてして
きた
：ただ：

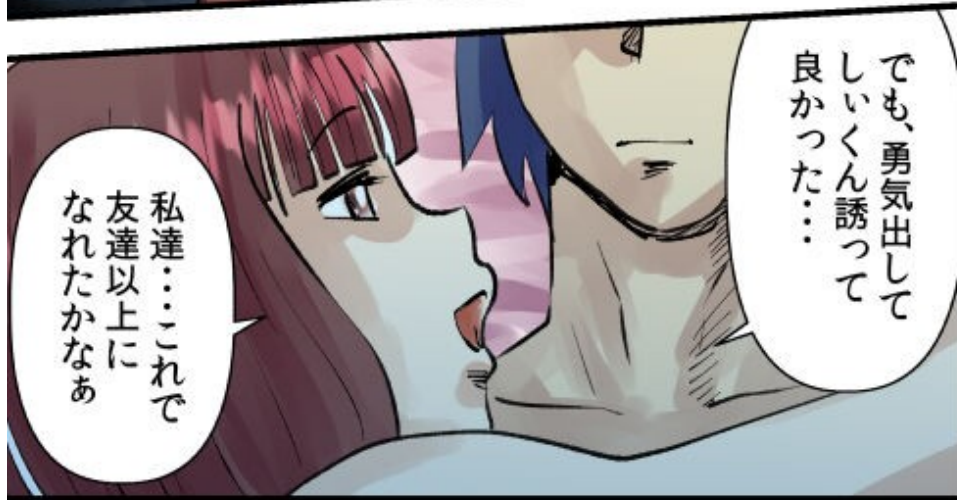
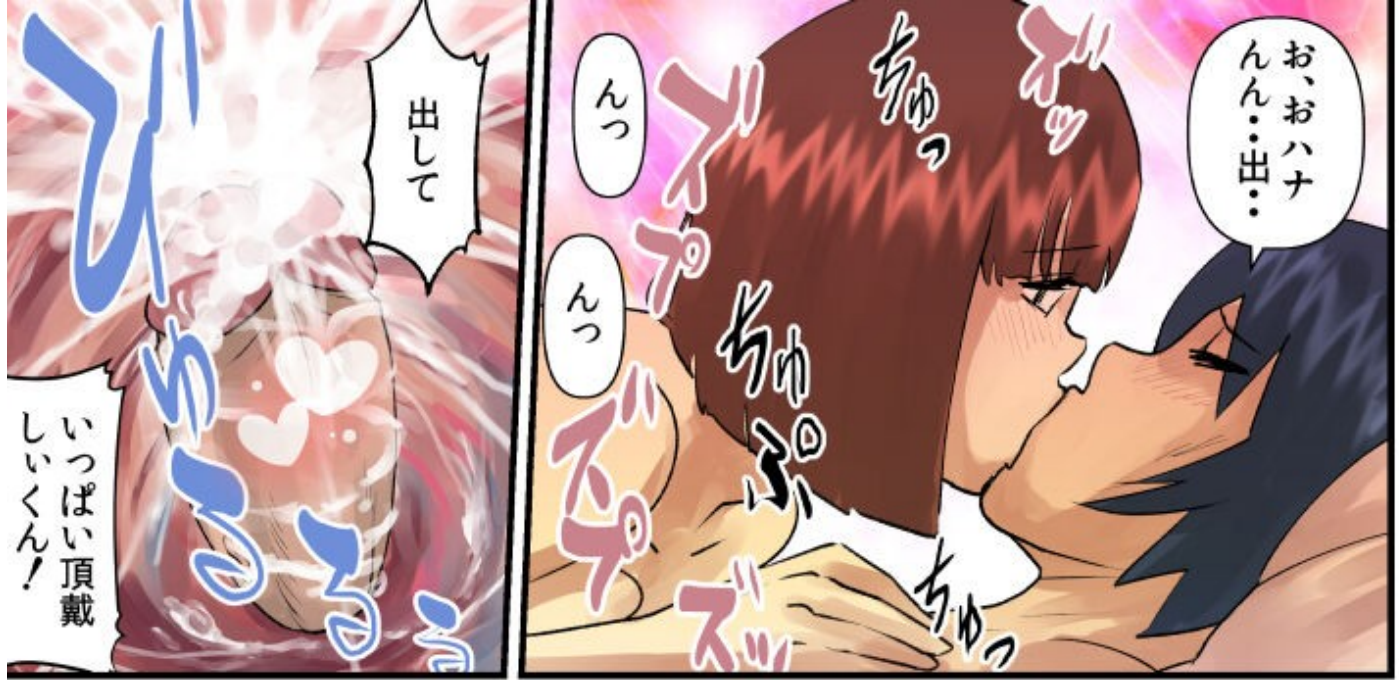


ゴメンねしいくん：私ホントはエッチな女の子なの

貴方を連れ込んで
こんなこと
しちゃってる

どうしよう
気持ちいいのお

「熟女」という
パワーワードは
オレを興奮させる



オレの「癖」を
知ったら…
この子はどう
思うだろう…



そんなこんなで
ノギコさんちへの
訪問日が来た

ノギコさん
独り身だって・
ココ・だよな

川村乃季子

川村乃季子・
こんな字を
書くんだ

緊張するなあ

はーい

ポン

カチャ

いらつしやい
シズルくん

ふおっ

熟女の
裸エプロン!!



久々の家庭料理
ご馳走様でした
美味しかった

お粗末様
喜んで貰えて
嬉しいわ

じゃあ次は
私が美味しく
いただく番

公園じゃ時間が
ないから早々に
済ませちゃうけど

今日はじっくり
堪能させてちょうだい

ああ、こんなに大きくて
硬かったのねシズルくん





熟女フエラ



経験豊富な
尺八:

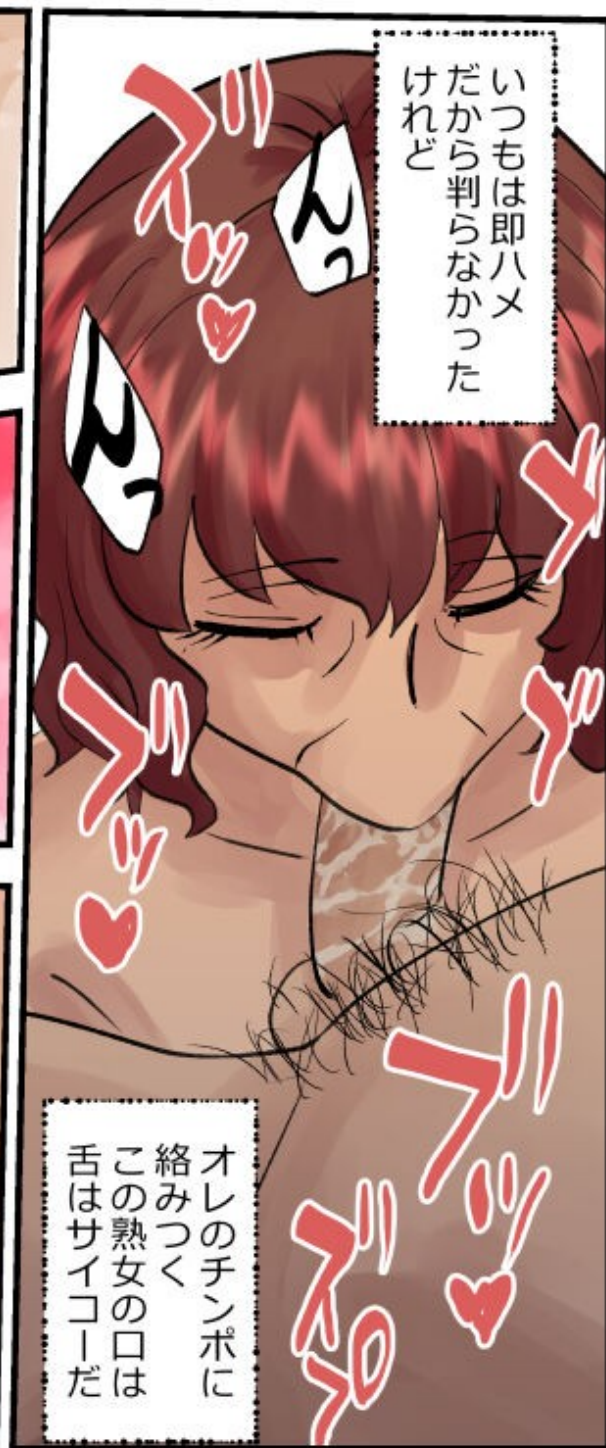
おハナでは
味わえない



ノギコさんも

熟女マンコを
いじってる:

熟女汁をいっぱい
垂らしながら



いつもは即ハメ
だから判らなかつた
けれど

オレのチンポに
絡みつく
この熟女の口は
舌はサイコーだ



ノギコさん

オレもう
溜まんねーッス

あ
❤

ガッ

いいわ
きて：

年輪を重ねた
ホウレイ線

垂れた大きな
オッパイと
大きな濃い乳輪

処理していない
腋毛や陰毛：

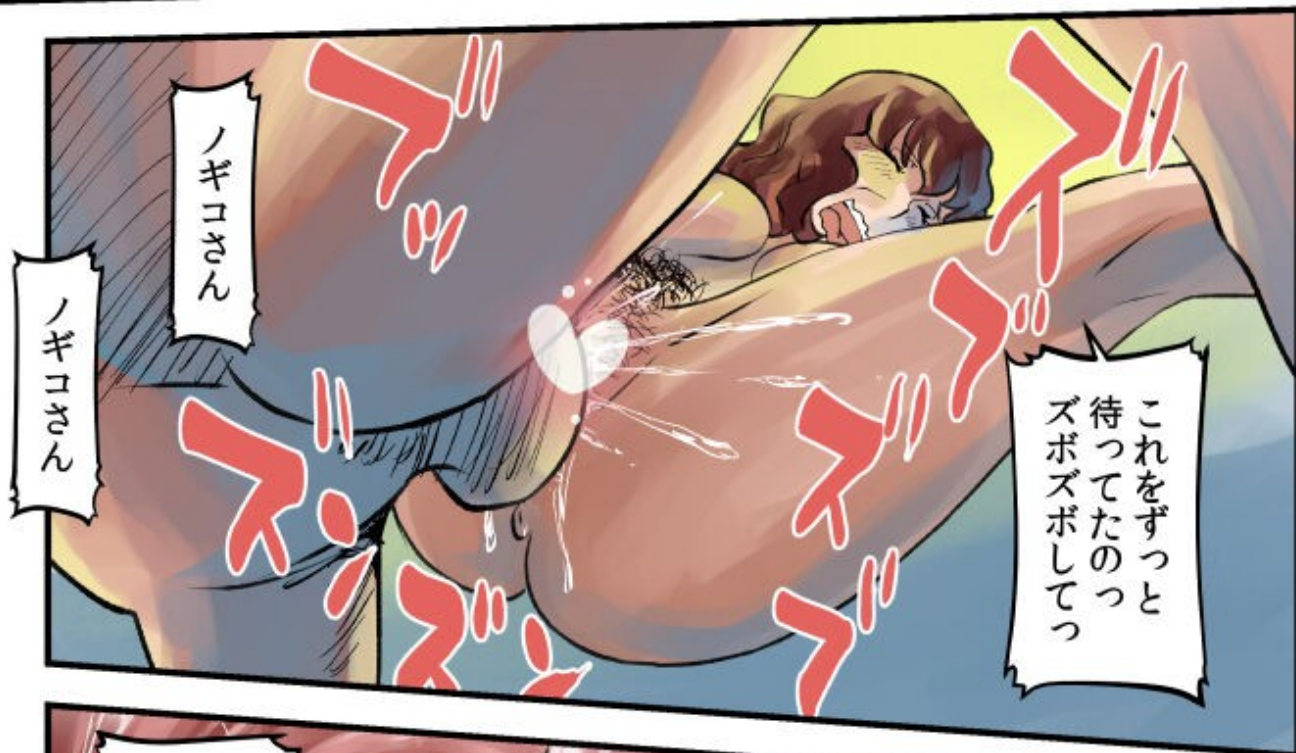
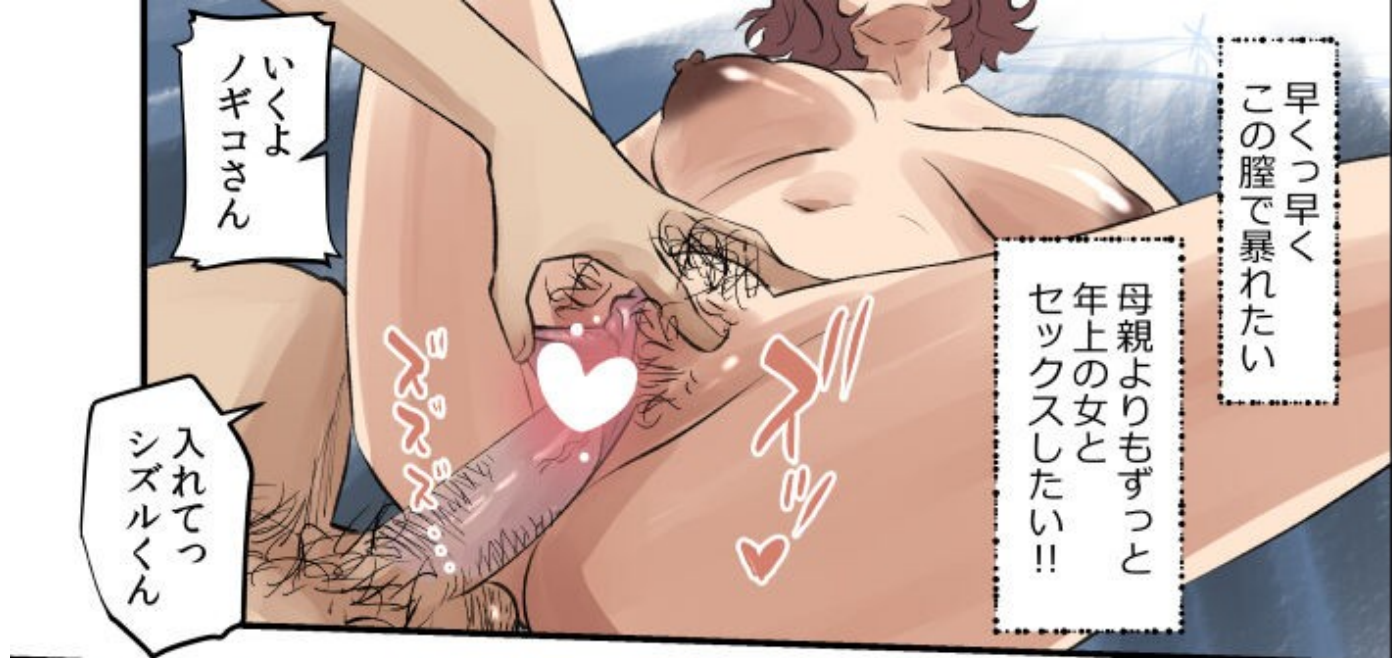
脂肪が割れ
弛んだお腹

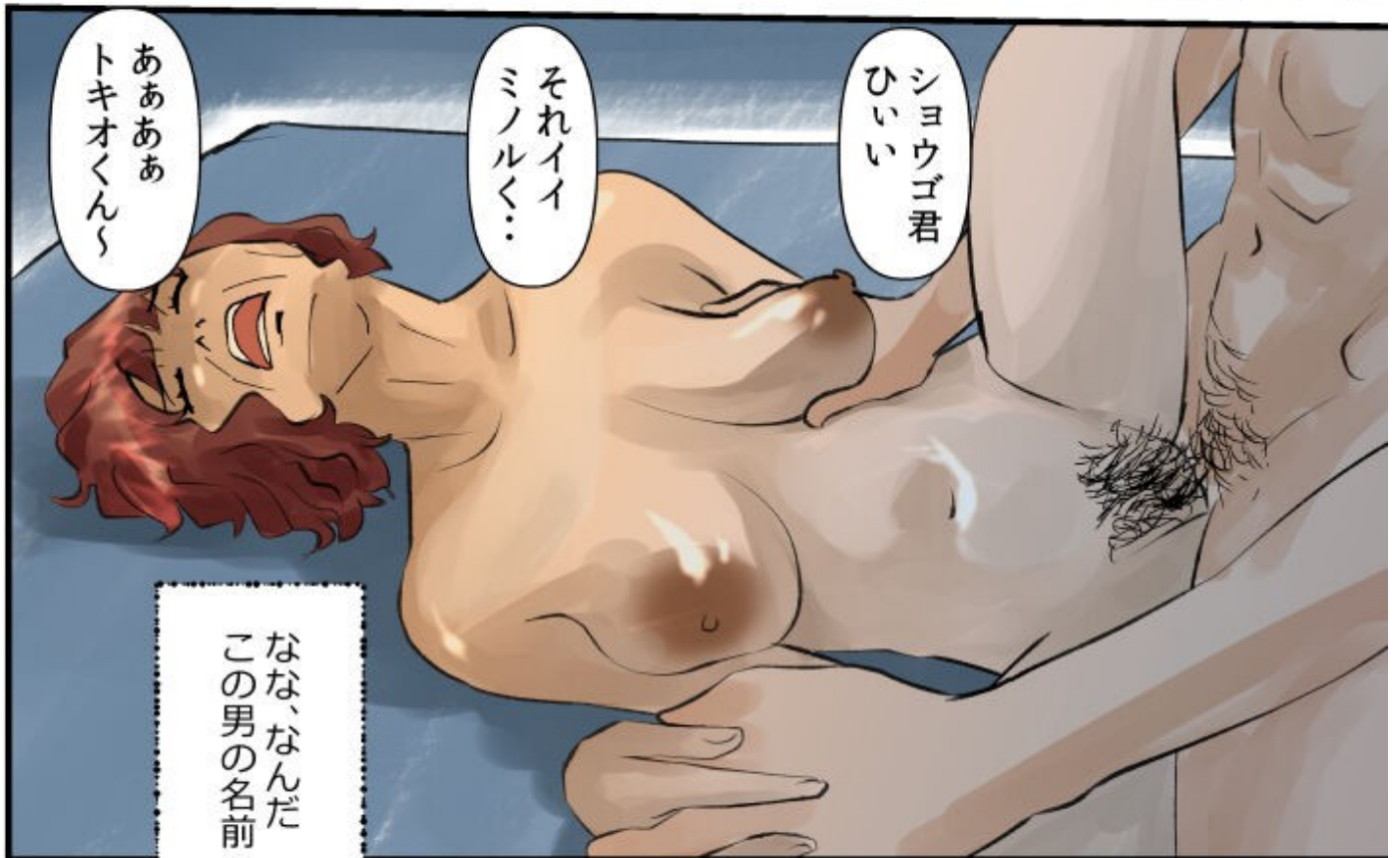
キレイだノギコさん

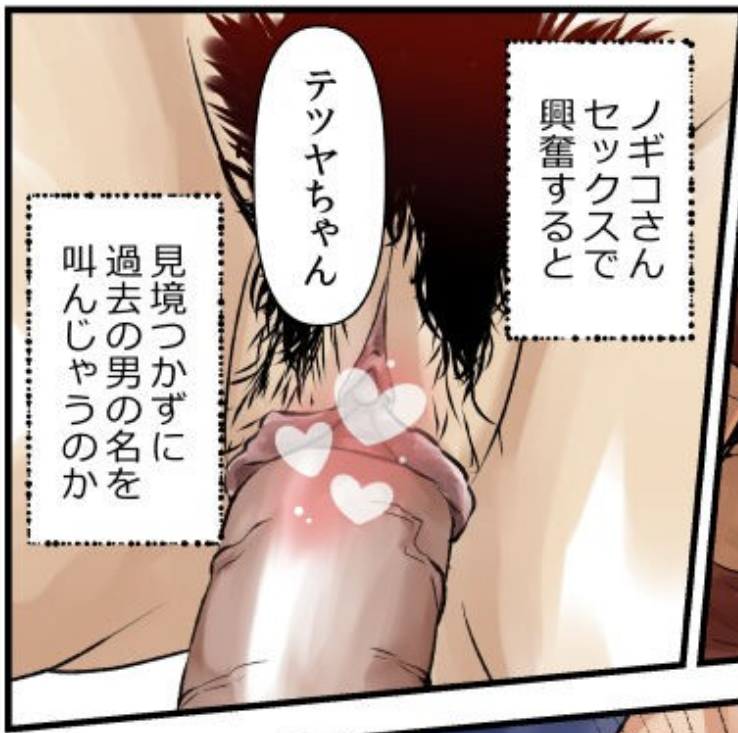
そして経験豊富な
マンコ

オレにとって
めがみさま
アナタは美熟女!!









ええーっ
私そんなこと

覚えてるもん
なんですわ
それが凄い

やっっちゃった
恥ずかしい！

でもオレは逆に
興奮したッスよ

ノギコさん美人だし
若い頃からモテたん
だろうな！

いいんだよノギコさん
それが美人の特権だから

でも安心して

オレはそんな
過去の遍歴には
こだわらないよ

たぶん私が言った
男性の名前は

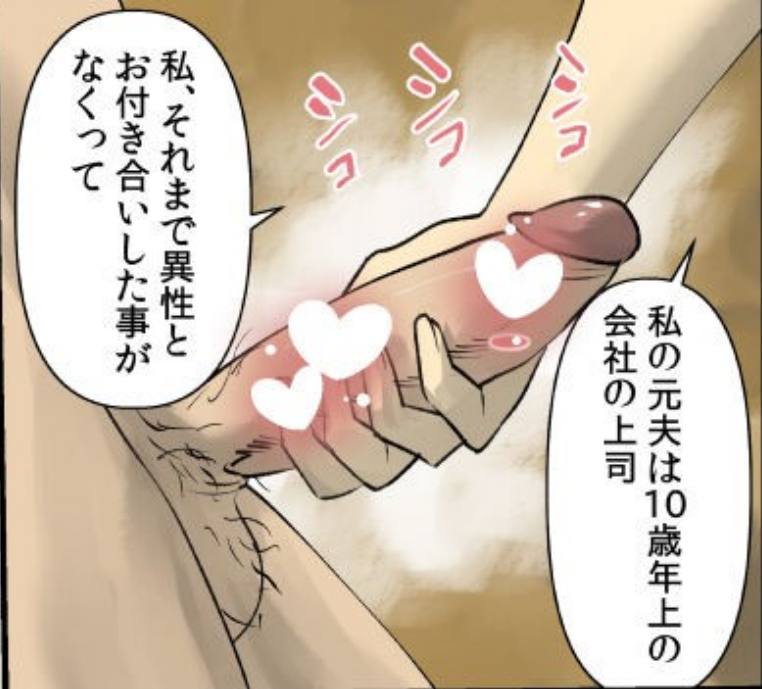
結婚してから
頻繁に浮気して
しまった年下の
男の子の名前！

結婚後
頻繁に浮気！？
しかも年下！



操を捧げたのも
結婚初夜の日

そうなんだ…



私、それまで異性とお付き合いました事がなくって

私の元夫は10歳年上の
会社の上司



でも…子供が
産まれると
徐々に
夫婦の営みも
無くなり

欲求不満な
暮らしが
十数年続いたわ

そんなある日：
私はつい軽い気持ちで
自分の子供の友達に

手をつけてしまったの



その結果…

旦那にも子供にも
捨てられちゃったけど



最初は主人への
当て付け程度
だったけど…

気がつけばもう
若い男無しでは
生きてゆけない
女になっていた

旦那しかセックスを
知らなかった私は
年下属性という新しい
世界にドツプリ浸かって
しまっていたの

離婚して自責の念に
駆られた私は
自分を戒めるため

男断ちしてオナニーで
欲求を満たすことに
したの



けどそれが返って
彼らを思い出す
結果になり

名前を言いながら
絶頂する癖がついてし
まったみたい：



ごめんなさい
ダメね：私：

そんなこと
ないッス
ノギコさん



オレ、思い切って
ノギコさんに声を
かけて良かったと
思ってます

不謹慎かも
しれないけど



離婚してくれて
ありがとう：
ノギコさん

シズルくん：



私こそ：
アナタに会えて
感謝してる：

もう二度と
若いコとセックス
出来るなんて
思ってたかった
から：

この出逢いは
神様の思し召しね

シズル君と
出逢ったのは

私が男断ちしてから
三年ほど経った頃かしら

早朝、この部屋の窓から
裏の公園に目をやると

ジョギングではなく
明らかにトレーニング
している青年がいた

私も経験あったから
ひと目見て彼が
陸上をやってる人
だって判ったわ

朝日に煌く汗と
若者特有の匂い
忘れていた青春時代を
その青年に重ねていた

そして同時に

私の体に芽生えた思いは：

あの青年と・・・

セックスがしたい





